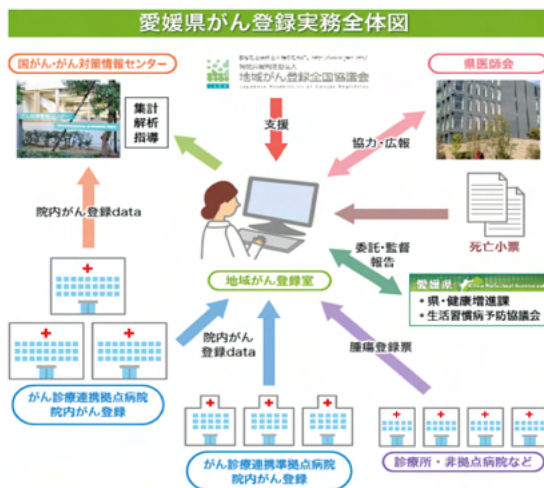


1. 愛媛県の地域がん登録の歴史

愛媛県地域がん登録は、1985年に愛媛県医師会内にはがん登録検討委員会が設立され、がん登録の検討が始まり、1987年には試行登録が開始、1990年から愛媛県の事業として地域がん登録事業が開始されました。2007年に愛媛県生活習慣病予防協議会の指導、県医師会の協力の下、四国がんセンターに業務が委託され、登録項目に関しても県独自の項目から標準登録様式に変更されました。

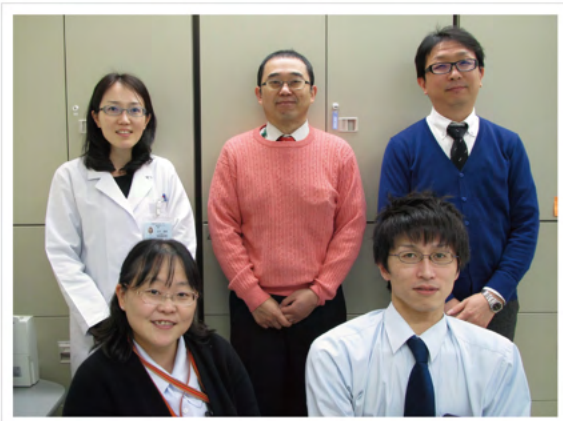


2. 登録室紹介

地域がん登録室は、四国がんセンター医療情報管理室内に部屋を設け、標準DBSを導入し日々の業務を行っています。

登録室の体制は、病院業務との兼任者が多いですが、医師2名、実務者3名の体制で行っています。

登録票の年間処理件数は、現在、拠点病院から約10,000件、推進病院から約1,500件、一般病院から約1,000件となっており、死亡小票の処理件数は年間約17,000件となっています。



愛媛県地域がん登録室のスタッフ

3. 愛媛県のがん登録の特徴

愛媛県のがん登録は、愛媛県がん診療連携協議会に属している拠点病院・推進病院の活動が活発で、院内がん登録実務者研修会、院内がん登録情報・解析研修会を開催しています。また、これらの研修会を通して、院内がん登録データに基づいた冊子「がん登録でみる愛媛県のがん診療」を作成しています。こういった活動を活発に行うことにより、実務者間の連携が密になっており、地域がん登録への協力も積極的に行われています。

4. 現状と課題

2007年からの取り組みにより、登録数においては、8,982件（2007年診断）だったものが、12,436件（2012年診断）と増加しており、DCNにおいては、33.6%（2007年診断）から14.7%（2012年診断）と精度が上がってきています。

精度向上の要因として、拠点病院・推進病院での院内がん登録が大きく起因していると考えています。ただ、精度の年度推移を見てみると、これ以上の大幅な向上は難しいのではと思われます。今後は、更なる精度向上を目指し、拠点病院・推進病院以外の病院・診療所などへのアプローチが必要だと考えています。その取り組みとして、2014年5月に一般病院・診療所を対象とした地域がん登録の研修会を開催しました。

今後は、県や医師会などと協力し、がん登録の広報活動も進めていかなければと考えています。また各地域での研修会の開催や出張採録なども検討し、更なる精度向上を目指したいと考えています。

5. 最後に

2013年12月にがん登録推進法が可決され、2016年からは全国がん登録が開始されることになっています。愛媛県のがん登録においても大きな変革の時になると考えています。これを乗り越えるように愛媛県・医師会・医療機関と連携し、更なる向上を目指してスタッフ一丸となって頑張っていきたいと思っています。

また、国立がん研究センターをはじめとした関係する皆様のご指導ご鞭撻を頂けたらと思います。よろしくお願いいたします。



愛媛県

四国がんセンター 愛媛県地域がん登録室

白岡 佳樹